



令和3(2021)年度学術変革領域研究(A)

2.5次元物質科学：
社会変革に向けた物質科学のパラダイムシフト

2.5D Materials

第3回 若手交流会レポート



参加者集合写真

第3回

東京大学 本郷キャンパス
工学部6号館3階 セミナー室A&D (東京都 文京区)

2024年6月21日、若手の交流を通じた領域の活性化を目指し、東京大学にて第3回若手交流会を開催しました。今回も全国から、前回は上回る53名の若手研究者・学生が参加しました。今回は若手交流会幹事のお一人である蒲江先生(A04)にお話を伺いました。

今回はどのような交流会になりましたか？

第1回と第2回に引き続き、今回も非常に活気のある交流会となりました。特に坂野さん(A03)によるチュートリアル講演での質疑やポスター発表において、学生を中心とした議論が多く展開されていたのが印象的でした。フリーディスカッションでは、所属も学年も異なる学生同士が、自身の研究内容から日々の研究の進め方や苦労まで、様々な話題で交流していました。気軽に参加することができ、楽しめる会になっていたと思います。肩ひじ張らずに若手が交流し、ネットワーク作りができることを目的にしていますので、だんだんとそのような雰囲気ができつつあると感じています。実際に、以前の若手会でできたネットワークにより共同研究がやりやすくなった、研究のモチベーションが上がった等の意見もあり、若手会を開催する価値があることを実感しています。

プログラムの内容や当日の進行について お聞かせください

今回は、坂野さんによるチュートリアル講演「バンド構造の読み解き方」を聴講した後、参加者全員がプレゼンをそれぞれ1-2分間行いました。プレゼンでは自己紹介と研究内容を発表し、各研究室のうち1名が研究室と指導教員を紹介しました。その後は、ポスターセッション、ラボツアー、フリーディスカッションの順で進行していきました。ラボツアーでは、長汐研究室(A05)と坂野グループ(石坂研究室)を見学。学生からは普段見慣れない設備などが見れて刺激的だったという感想が得られました。



チュートリアル講演を聴講

前回、課題として挙がっていた研究室の偏りについて、今回はいかがでしたか？

今回は約15研究室から約50名の参加者が集まり、平均して1研究室2-3人と比較的バランスがとれていたと思います。もちろん参加者が多い研究室もありました。東京大学での開催でしたが、関東圏以外からも参加がありました。リピーターもいましたが、初めて参加された方も多かったのではないのでしょうか。そのため前回挙がっていた課題は今回解消され、幅広い研究室、関東に限定されない地域、初めての参加者も多く、誰にとっても参加しやすいイベントになったのではないかと思います。

どのような話題がありましたか？

学生中心の話題が多い中、若手の助教・講師・准教授の参加者も多かったため、研究者同士のキャリアについての話題もありました。特に、今後の研究方針や、予算申請、キャリアアップなど、苦楽を共有することもできました。

また共同研究を行っているグループ同士では、学生を交えてフランクな話し合いができるのもメリットと感じました。普段は共同研究の打ち合わせや報告に終始してしまいがちですが、このような機会があるとコミュニケーションの幅が広がります。ちょっとした気づきを共有できることや疑問や不安を放置しないことはとても大切です。今回のイベントを通じて、学生同士の交流も大事ですが、若手研究者と学生がスムーズに繋がることが円滑に共同研究を行う上で大事だと再認識しました。

若手の皆さんへのメッセージをお願いします

若手交流会は所属研究室以外の学生やスタッフと知り合える貴重な機会だと思います。研究室にずっといると、ちょっとしたことで思い悩むことがあるかもしれませんが、そんな時に年代の近い人が集まる場で交流すると、悩みを共有できたり、意外な発想や解決策などが見つかったりするかもしれません。ぜひ気軽に若手交流会に『遊び』に来てください！



懇親会の様子



講演の後はプレゼンテーションを聴講

学生さんからのコメント

「普段は一大学の一研究室という限られた環境ですが、他大学の方たちとの交流や、施設の見学等非常に良い経験になりました。自分はまだまだこの分野に関して未熟なので、さらに視野や知識を深め、早く諸先輩方に追いつきたいと思える良い機会になったと思います。」

村上 隼之亮 (東京都立大学/学部4年生)

「私は学部・修士の頃には全く異なる分野で研究をしていました。そのため、知り合いなどがほとんどおらず少し不安な中参加しましたが、学生・先生方問わず和やかな雰囲気での交流を深めることができました。一方で、今後の研究につながるような議論を行うこともでき、非常に有意義な会だったと感じました。」

渥美 圭脩 (東京大学/博士課程1年)



ポスター発表

フリーディスカッション



Reporter

蒲江 東京工業大学
理学院
准教授 (若手会幹事)

領域ホームページ <https://25d-materials.jp>
(ニュースレター公開日:2024年 8月6日)